



# 第九 ひろしま 2021

1985年に始まり、広島冬の風物詩ともなった「第九ひろしま」は、残念ながら今年も、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、市民からの団員募集を断念することになりました。しかし、私たちは、広島音楽の灯を絶やさず、むしろこのような困難な社会状況だからこそ、音楽の素晴らしさを実感する機会が必要だと考えました。

そこで今年は、広島交響楽団とソリスト達による演奏と歌声でお送りする「第九コンサート」を開催します。合唱は叶わずとも、苦難の先にある歓喜を夢見て、ベートーヴェンが「第九」に込めた『人類愛』を会場で一緒に見つめ直しませんか。

## フロイデ Freudeコンサート

～分かち合おう、新たなる喜びを～



© Naoya Yamaguchi

【指揮】  
下野 竜也  
広島交響楽団音楽総監督

【管弦楽】  
広島交響楽団

12月19日(日) 開演15時  
(開場14時15分)

広島サンプラザホール  
(広島県広島市西区商工センター3丁目1-1)

### 第1部「実力派ソリスト達による至高の響演」

※演奏曲は変更する場合がございます。

- モーツァルト: 歌劇「後宮からの逃走」K.384 「序曲」「さあ戦いた!」
- モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」K.492 「序曲」「もう飛ぶまいぞ、この蝶々」「恋とはどんなものかしら」「とうとう嬉しい時が来た!」

「合唱団員必見!? マエストロ・下野や指導者たちによる第九ひろしまこだけトークショー」

### 第2部「ベートーヴェン 交響曲第9番二短調 Op.125『合唱!』」

- WEB配信: 12月19日(日) 夜(時間未定)～12月27日(月) 午前0時 (合唱動画も募集します。詳しくは第九ひろしま公式HPでご確認ください。)
- テレビ特別番組: 12月26日(日) 午後4時～ ※全乗車は同日深夜に放送予定
- ラジオ特別番組: 12月29日(水) 午後10時～

10月16日(土)10時 チケット発売予定 **全席自由席**  
一般前売り **2,500円(税込)**

※4歳以上は有料です。3歳以下の入場はお断りいたします。  
※会場への入り口は西口(公園側)のみとさせていただきます。

販売PG/・RCCオンラインチケット ・エディオン広島本店PG  
・福屋広島駅前店チケットセンター ・グリーンコンサート広島  
・生協ひろしま ・セブチチケット ・ローソンチケット(Lコード:61994)  
・チケットぴあ(Pコード:205-127)

【ソプラノ】

種谷 典子

© FUKAYA Yoshinobu\_auraY2

【アルト/  
カウンターテナー】  
彌勒 忠史

【テノール】  
升島 唯博

【バリトン】  
久保 和範

【合唱団】  
エリザベト音楽大学  
全学科1・2年生 + 声楽科有志一同

問合せ先▶RCC事業部 ☎082-222-1133 (平日10時～17時)

主催/中国放送

特別協賛/株式会社サタケ

ARTS

文化庁[ARTS for the future]  
補助対象事業

後援/広島県・広島市・広島県教育委員会・広島市教育委員会・広島県合唱連盟・ドイツ連邦共和国総領事館



第九ひろしま

検索

フェイスブックで  
最新情報を  
チェックしよう!



**第1部 「実力派ソリスト達による至高の響演」** ※演奏曲は変更する場合がございます。

- モーツァルト: 歌劇「後宮からの逃走」K.384 『序曲』『さあ戦いだ!』
  - モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」K.492 『序曲』『もう飛びまいぞ、この蝶々』『恋とはどんなものかしら』『とうとう嬉しい時が来た』
- 「合唱団員必見!? マエストロ・下野や指導者たちによる第九ひろしまここだけトークショー」

**第2部 「ベートーヴェン 交響曲第9番ニ短調 Op.125 『合唱』」**

Conductor 指揮

下野 竜也 Tatsuya Shiono



©Naoya Yamaguchi

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)。  
1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年プザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。  
国内では、定期的にNHK交響楽団定期公演に招かれる他、国内主要オーケストラに客演し、コンサート、放送などに登場している。また、国外ではコンクール優勝後、ローマサンタチェチーリア管、ミラノ・ヴェルディ響、チェコフィル、プラハフィル、シュツットガルト放送響、南西ドイツ交響楽団、オーストリア室内管、ホルドー・アテキニス管、ロワール管、コートダジュール・カンヌ管、ストラスブル管、クラコフフィル、シンフォニア・ヴァルソビア、バルセロナ響などを指揮。  
これまでに、読売日本交響楽団の初代正指揮者(2006年11月~2013年3月)、同団首席客演指揮者(2013年4月~2017年3月)、京都市交響楽団常任客演指揮者(2014年4月~2017年3月)、同団常任首席客演指揮者(2017年4月~2020年3月)を歴任。2011年1月、広島ウインドオーケストラの音楽監督に就任し現在に至る。  
2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。  
鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。  
京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。  
NHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。  
公式ホームページ <https://www.tatsuyashimono.com/>



©FUKAYA/Yoshinobu\_laura2

Soprano

ソプラノ

種谷 典子  
Noriko Tanetani

広島県出身。国立音楽大学卒業。同大学院修士課程オペラ専攻を共に首席で修了。修了時に声楽専攻最優秀賞受賞。宮内庁主催桃華楽堂新人演奏会にて御前演奏を行う。新国立劇場オペラ研修所第16期修了。第24回リッカルド・ザンドナイ国際コンクールにて特別賞受賞。第16回東京音楽コンクール声楽部門第2位受賞。文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてイタリア及びスイスにて研鑽を積む。オペラでは、『フィガロの結婚』スザンナ、『ドン・パスクワレ』ノリーナ、『なりゆき泥棒』ベレニーチェ等を演じるほか、コンサートでは東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団等と共演。ヴィヴァルディ『グローリア』、チルコット『レクイエム』等、ソリストとしても常に高い評価を得ている。21年二期会『魔笛』パパーナで出演。22年『影の無い女』鷹の声に出演予定。二期会会員。



Counter tenor

カウンターテナー

彌勒 忠史  
Tadashi Miroku

千葉大学卒業、同大学院修了。東京藝術大学卒業。イタリア政府奨学生として渡伊。イタリア国内外劇場でオペラ、演奏会に出演。平成24年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。演出や執筆など多彩な活動を展開しており、15~18年市川海老蔵特別公演『源氏物語』においては歌唱及び音楽アドバイザーを務める。16年佐渡裕指揮『夏の夜の夢』オペロン、18年A、パッチェストーニ指揮『カルミナ・ブラーナ』出演。NHKラジオ・イタリア語講座講師。CD『No early music, No life?』(朝日新聞推薦盤)など多数。著作『イタリア貴族養成講座』(集英社)、『歌うギリシャ神話』(アルテス・パブリッシング)など。在日本フェッラーラ・ルネサンス文化大使。二期会会員。



Tenor

テノール

升島 唯博  
Tadahiro Masujima

広島県出身。エリザベト音楽大学卒業。デトモルト音楽大学、リューベック音楽大学、同大学院修了。オランダ・オイレギオ国際声楽コンクール優勝。08年ブレーメン歌劇場とソロ契約を結び『魔笛』モノスタトス、『サロメ』ユダヤ人、ロッシェニ『マホメット2世』セリモに出演する他、ハンブルク州立劇場『アトランティスの皇帝』ハルケン、ハイデルベルク・オペラ劇場『天国と地獄』マーキュリー、ミュンスター州立劇場『ユリッセルの帰還』ピザンドロ、『盗賊』フラゴレット、『夢食い小人』タイトルロール、オプティーン夏季オペラフェスティバル『道化師』ペッペ、『イル・トロヴァトーレ』使者、『ピノキオ』タイトルロールを演じる。国内では日生劇場をはじめ数々の舞台で活躍。近年では東京二期会『ばらの騎士』ヴァルツァッキ、『蝶々夫人』グロー、新国立劇場『ばらの騎士』元帥夫人の執事、『魔笛』モノスタトスに出演。二期会会員。



Baritone

バリトン

久保 和範  
Kazunori Kubo

東京藝術大学、及び同大学院修了。文化庁オペラ研修所修了。文化庁在外研修員としてニューヨークに留学。第1回ヴォーチェプリランテコンクール第1位。兵庫県知事賞受賞。第6回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位併せて木下保賞受賞。新国立劇場では、開場記念『健・TAKERU』稲置をはじめ、『天守物語』『俊寛』『ドン・ジョヴァンニ』『ピーター・グライムズ』『夕鶴』等出演。また、東京二期会『フィガロの結婚』フィガロ、『蝶々夫人』シャープレス、『魔笛』弁者、兵庫県立芸術文化センター『こうもり』ファルケ、『セビリアの理髪師』バルトロ等のほか、蜷川幸雄演出『仮面手本忠臣蔵』等、ミュージカルにも数多く出演している。京都市立芸術大学教授。二期会会員。

広島交響楽団 Hiroshima Symphony Orchestra



国際平和文化都市「広島」を拠点に「Music for Peace ~音楽で平和を~」を旗印として活動するプロオーケストラ。2017年より下野竜也が音楽総監督を務め、その意欲的な音楽づくりが注目を集めている。クリスティアン・アルミンクが首席客演指揮者、秋山和慶が終身名誉指揮者を務めるほか、ウィーン・フィル、コンサートマスターのフォルクハルト・シュトイデをミュージック・パートナーに、細川俊夫をコンポーザー・イン・レジデンスに迎えている。また、ピアニスト、マルタ・アルゲリッチには2015年の『平和の夕べ』コンサートでの共演をきっかけに「広響『平和音楽大使』」の称号を贈り、相互に平和を希求する音楽活動を続けている。1963年「広島市民交響楽団」として設立、1970年に「広島交響楽団」へ改称。  
学校での音楽鑑賞教室や社会貢献活動にも積極的に取り組み、地域に根ざした楽団として「広響」の愛称で親しまれる。1991年の「国連平和コンサート」(オーストリア)での初の海外公演以降、チェコ、フランス、ロシア、韓国、そして2019年にはポーランド・ワルシャワでの「シヨパンと彼のヨーロッパ国際音楽祭」に招かれ、ヒロシマのメッセージを音楽で海外へも発信。これまでに「文化対話賞(ユネスコ)」「広島市民賞」ほか受賞歴多数。  
公式Web <http://hirokyo.or.jp/>